

# 『ゆーのびーの』 ～びーのびーのの預かり事業～

『ゆーのびーの』はNPO法人びーのびーのが運営する  
「預かり保育」事業です。

子どもの気持ちを大切に、親と子を「こんにちは！」と  
温かく迎えるご近所のもう1人のおかあさん……

あなたの子育てのパートナー、  
妙蓮寺のちっちな おうち



# 「かがやけ横浜子ども未来」の 活動内容

## ■次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜子ども未来」の 最優先事業

- 実施事業要綱 ①交流事業 ②相談事業 ③情報発信事業  
④ネットワーク事業 ⑤人材育成事業

## ■初めての在宅育児支援施設の運営を子育て支援のNPOの法人に 委託、平成21年度までに11区全區に11施設の整備目標

子育て支援期間の間、浜市、各区、ひまわり会、NPOの  
共同会議、地域支援者ネットワーク、NPOを支援

11区全區に11施設の整備目標

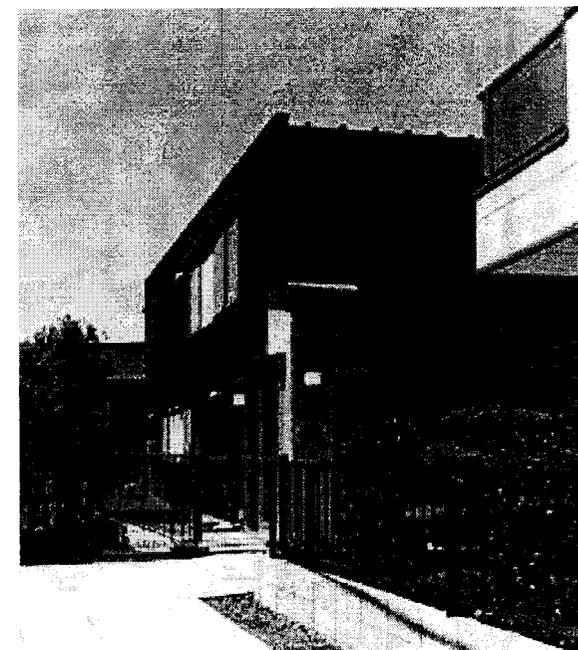
# 新しい施設運営のあり方を目指して

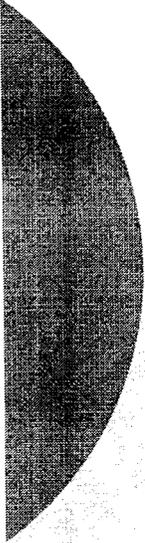
- 民設民営方式でありながら、  
公的委託による運営
- 委託契約書・仕様書とは別に、  
「協働協定書」の締結を目指して
- 施設運営の評価・成果の見出し方
- NPOの独自性と当事者性×  
行政の公平性と普遍性

港北区  
地域子育て支援拠点



どろっぷ概観↓





# どろっぷの委託に際して

---

## ○委託事業を受ける前に

→ 協働モデル事業を横浜市、港北区と実施、協働協定書を取り交わして3年間実施(補助事業)

## ○近い行政ほど難しい

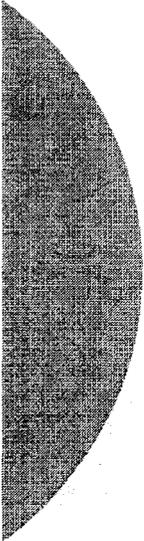
→ 理解不能なことの連続。話し合い、ワークショップの積み重ねから打開。協働協定書案は、半年がかりで作成。

## ○同じ立場の受託法人でネットワーク

→ 行政とは団体だけでなくネットワークを通じて話し合う。

## ○地域子育て支援に関しては、市民・NPOが先行

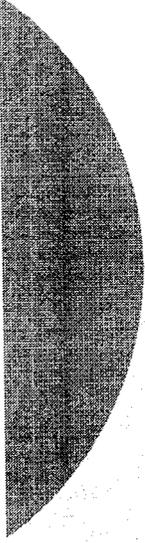
→ 新しい分野で新しい協働のかたちを模索



# NPOと行政の協働のポイント

---

- **めざすべき目標、到着点を確認する**
  - 目標が定めればそれぞれの強みを活かす
- **理念も大事だが、実践で成果を出す**
  - NPOが公共サービスの担い手になれることを実証していく
- **行政だけでは出来ない付加価値を生み出す**
  - NPOの専門性、ネットワーク力を活かしNPOの自律性を確保する



# そして協働から何を生み出すのか

---

●NPOと行政の2者関係をこえた社会システムの  
変革

●受益者(子育て家庭)への還元

異分野の出会いから生まれる面白さ、クリエイティブな側面を楽しむ

**ありがとうございました！**

---

**子育てひろばから 地域を**

**つないでいこう！**

**NPO法人びーのびーの  
奥山千鶴子**

